

2021年度第4回（2022年2月9日）  
IIPPF 企画委員会 情報共有セミナー活動報告

IIPPF 事務局

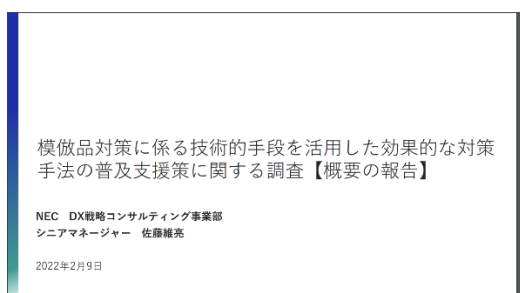
2022年2月9日、第4回 IIPPF 情報共有セミナー「真贋識別技術に関する IIPPF 情報共有セミナー」をオンラインにて実施しました。真贋識別技術については、企業の間で関心が高く、当日は286名の方々にご参加頂きました。

真贋識別ツールとしてホログラムが主流となっていますが、近年には、IT 技術を駆使した新しい識別技術が開発されております。同セミナーでは、真贋識別技術の概要等のほか、日本企業4社が各社の真贋識別ツールや活用事例を紹介しました。

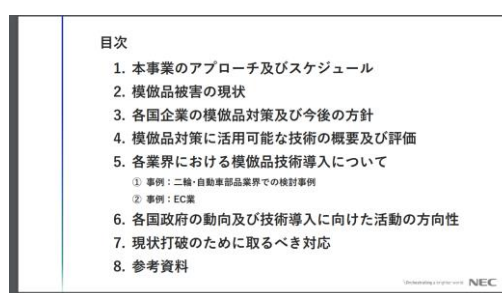
冒頭では、日本電気株式会社の佐藤維亮氏（2018年度の経済産業省の判別技術に関する委託調査を担当）より、「国内における模倣品対策の課題及び技術的手段を活用した対策手法について」という演題でご講演頂きました。

佐藤氏からは、①我が国企業の模倣品被害の現状のほか、②欧米企業では日本企業とは異なり、模倣品対策がブランドプロテクションやマーケティングの一環として捉えられているため、十分な資金や人材が投じられている点、③欧米企業や中国の一部 EC サイトでは、ブロックチェーンや AI を活用した真贋を自動的に識別できる技術の導入が進められている点、④日本では、各業界が抱える課題やそれぞれにあった真贋識別技術導入の必要性について、ご講演頂きました。

続いて、日本電気株式会社、凸版印刷株式会社、キヤノン IT ソリューションズ株式会社、株式会社ハヤト・インフォメーションの方々にご登壇頂き、各社の真贋識別ツールについて、活用事例等を交えながら、ご紹介頂きました。



講演資料表紙



講演資料

以上